

第16回 広島肝臓プロジェクト研究センター シンポジウムのご案内

日時 令和2年10月10日(土)
13:00～18:50

場所 TKPガーデンシティ PREMIUM広島駅北口
3階「ホール3B」

会費 500円

Program

13:00 ~ 13:05 開会のあいさつ

広島肝臓プロジェクト研究センター長 茶山 一彰

一般演題

13:05 ~ 13:55 セッションI 癌

座長：国立病院機構呉医療センター外科 田代 裕尊
広島大学大学院消化器・代謝内科学 相方 浩

1. HCV排除後も持続するエピジェネティクス異常を介した肝発癌リスク

大野 敦司、相方 浩、今村 道雄、寺岡 雄吏、藤野 初江、中原 隆志、村上 英介、山内 理海、河岡 友和、三木 大樹、柘植 雅貴、茶山 弘美、C. Nelson Hayes、茶山 一彰
広島大学大学院消化器・代謝内科学、広島大学肝臓・消化器研究拠点

2. ダイヤモンドプリンセス号重症例と肝癌治療：この5か月

飯室勇二¹、弘津陽介²、雨宮健司²、望月仁^{2,3}、小俣政男^{3,4}
山梨県立中央病院 外科¹、ゲノム解析センター²、消化器内科³、東京大学⁴

3. マウス脂肪肝部分肝虚血再灌流障害モデルに対する可溶性トロンボモジュリン製剤の腫瘍転移抑制効果の検討

山口 恵美、田代 裕尊、黒田 慎太郎、小林 剛、大段 秀樹
国立行政法人呉医療センター・中国がんセンター外科、広島大学病院消化器・移植外科

4. 肝細胞癌における長鎖非コードRNA NEAT1の発現と予後との関連

土谷 博之¹、網崎 正孝²、本城 総一郎²、藤原 義之²、汐田 剛史¹
鳥取大学医学部ゲノム再生医学講座遺伝子医療学分野¹、鳥取大学医学部器官制御外科学講座消化器・小児外科学分野²

5. 細胞内鉄欠乏によるミトコンドリア品質管理は肝発癌を抑制する

原 裕一¹、田中 敦²、梁取 いずみ³、日野 啓輔¹
川崎医科大学肝胆膵内科学¹、山形大学医学部メディカルセンター推進研究所²、名古屋大学大学院医学研究科生体反応病理学³

13:55 ~ 14:45 セッションII NAFLD・肝線維化

座長：川崎医科大学肝胆膵内科 日野 啓輔
株式会社フェニックスパイオ 立野 知世

6. 脂肪性肝疾患と自律神経ネットワークを介する臓器連関の関与

上村 顕也、大脇 崇史、永山 逸夫、高 昌良、名古屋 拓郎、井上 良介、薛 徹、坂牧 僚、上村 博輝、横尾 健、寺井 崇二
新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野

7. ヒト肝細胞キメラマウスを用いたCDAHFD誘発NASHモデルへのElafibranor投与による薬効効果の検証

喜早 慧士¹、菅原 豪¹、古川 鈴恵¹、小川 裕子¹、石田 雄二^{1,2}、岡上 武³、小原 道法⁴、立野 知世^{1,2}
株式会社フェニックスパイオ¹、広島大学肝臓・消化器研究拠点²、大阪府済生会吹田病院³、東京都医学総合研究所感染制御プロジェクト⁴

8. 肝硬変における分岐鎖アミノ酸及びリファキシミンの新たな作用機序の解明

江口 暁子¹、岩佐 元雄¹、玉井 康将¹、三善 英知²、竹井 謙之¹
三重大学大学院医学系研究科消化器内科学¹、大阪大学大学院医学系研究科機能診断科学²

9. 肝星細胞のコラーゲンゲル収縮能の肝細胞による増進

松原 三佐子¹、翁 良徳²、吉里 勝利³
大阪市立大学医学研究科合成生物寄付講座、肝胆膵内科学¹、大阪市立大学医学研究科肝胆膵内科学²、
大阪市立大学医学研究科合成生物寄付講座³

10. 門脈圧亢進による肝臓内在性NK細胞抗腫瘍活性低下メカニズムの解明

今岡 祐輝、大平 真裕、佐藤 幸毅、谷峰 直樹、黒田 慎太郎、田原 裕之、井手 健太郎、小林 剛、田中 友加、大段 秀樹
広島大学大学院消化器・移植外科、広島大学肝臓・消化器研究拠点

14:45 ~ 15:00 Coffee Break

15:00 ~ 15:40 セッションⅢ 再生・免疫

座長：広島大学大学院消化器・移植外科学 大段 秀樹
広島大学大学院消化器・代謝内科学 今村 道雄

11. T細胞制御による原発性胆汁性胆管炎の治療法の開発

中川 良、千葉 哲博、加藤 直也
千葉大学病院消化器内科

12. Platelets stimulate liver regeneration in a rat model of partial liver transplantation

Chen Liang, Kazuhiro Takahashi, Tatsuya Oda, Nobuhiro Ohkohchi
Department of Surgery, University of Tsukuba

13. 移植部位に応じた肝再生刺激因子供給に伴う肝細胞シート特性の変化

宮本 大輔¹、堺 裕輔²、黄 宇¹、三好 敬之¹、山崎 ちひろ³、立野 知世³、長谷川 英子¹、村井 友美¹、原 貴信¹、曾山 明彦¹、
日高 匡章¹、金高 賢悟¹、江口 晋¹
長崎大学大学院 医歯薬総合研究科¹、九州大学大学院 工学研究院²、株式会社フェニックスバイオ研究開発部³

14. アデノウイルスベクター投与後早期に誘導される肝障害発症メカニズムの解明

櫻井 文敦¹、清水 かほり^{1,2}、小野 良輔¹、飯塚 俊輔¹、塚本 智仁¹、西前 文敬¹、藤尾 慈¹、石田 雄二³、立野 (向谷) 知世³、
茶山 一彰⁴、水口 裕之^{1,5,6,7}
大阪大学大学院薬学研究科¹、大阪大学大学院薬学部²、株式会社フェニックスバイオ³、広島大学大学院医学研究科⁴、
医薬基盤・健康・栄養研究所⁵、大阪大学MEIセンター⁶、大阪大学先導的学際研究機構⁷

15:40 ~ 16:30 セッションⅣ ウイルス性肝炎

座長：広島大学大学院疫学・疾病制御学 田中 純子
広島大学大学院消化器・代謝内科学 柘植 雅貴

15. The IL-1 β /TNF- α -inducible MafF protein is a novel anti-HBV host restriction factor that suppresses transcription from the HBV core promoter.

Marwa K. Ibrahim^{1,2}, Masaya Sugiyama³, Masataka Tsuge⁴, Masahiko Ito⁵, Koichi Watashi¹, Kosho Wakae¹, Mohamed El Kassas⁶, Takeshi Saito⁷, Takanobu Kato¹, Asako Murayama¹, Tetsuro Suzuki⁵, Kazuaki Chayama⁴, Kunitada Shimotohno³, Masamichi Muramatsu¹, Hussein H. Aly¹, Takaji Wakita¹
Department of Virology II, National Institute of Infectious Diseases¹, Department of Microbial Biotechnology, Division of Genetic Engineering and Biotechnology Research, National Research Centre², Department of Biomedical Chemistry, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo³, Department of Microbiology and Immunology, Faculty of Pharmacy, Minia University⁴, Department of Virology and Parasitology, Fujita Health University School of Medicine⁵, Genome Medical Sciences Project, National Center for Global Health and Medicine⁶, Department of Gastroenterology and Metabolism, Graduate School of Biomedical and Health Science, Hiroshima University⁷, Department of Virology and Parasitology, Hamamatsu University School of Medicine⁸, Endemic Medicine Department, Faculty of Medicine, Helwan University⁹

16. Existence of hepatitis B virus surface protein mutations and other variants: demand for hepatitis B infection control in Cambodia

Ko Ko¹, Kazuaki Takahashi¹, Shintaro Nagashima¹, Chikako Yamamoto¹, Vichit Ork², Aya Sugiyama¹, Tomoyuki Akita¹, Masayuki Ohisa¹, Channarena Chuon¹, Md. Shafiqul Hossain³, Bunsoth Mao⁴, Junko Tanaka¹
Department of Epidemiology, Infectious Disease Control and Prevention, Hiroshima University¹, National Immunization Programme, Ministry of Health, Cambodia², Expanded Programme on Immunization, World Health Organization Country Office, Cambodia³, University of Health Sciences, Cambodia⁴

17. NS5A-P32欠失型HCVに対するDAAの治療効果

今村 道雄、寺岡 雄史、大屋 一輝、大野 敦司、藤野 初江、中原 隆志、村上 英介、山内 理海、河岡 友和、三木 大樹、柘植 雅貴、茶山 弘美、
C. Nelson Hayes、相方 浩、茶山 一彰
広島大学大学院消化器・代謝内科学、広島大学肝臓・消化器研究拠点

18. C型肝炎ウイルス排除後の新規肝発癌に関わるリスク因子の検討

三木 大樹^{1,3}、河岡 友和^{1,3}、柘植 雅貴^{1,3}、平松 憲^{1,3}、今村 道雄^{1,3}、相方 浩^{1,3}、田中 純子^{2,3}、茶山 一彰^{1,3}
広島大学大学院消化器・代謝内科学¹、広島大学大学院疫学・疾病制御学²、広島大学肝臓・消化器研究拠点³

19. C型肝炎ウイルス排除後のQOLに関する調査研究

秋田 智之¹、栗栖 あけみ¹、増本文¹、杉山 文¹、河岡 友和²、今村 道雄²、相方 浩²、清家 正隆^{3,4}、芥田 憲夫⁵、熊田 卓^{6,7}、
狩野 吉康^{8,9}、茶山 一彰²、田中 純子¹
広島大学大学院疫学・疾病制御学¹、広島大学大学院消化器・代謝内科学²、大分循環器病院消化器内科³、大分大学医学部附属病院消化器内科⁴、
虎の門病院肝臓内科⁵、岐阜協立大学看護学部⁶、大垣市民病院消化器内科⁷、恵佑会札幌病院消化器内科⁸、札幌厚生病院⁹

16:30 ~ 16:45 Coffee Break

16:45 ~ 17:45 基調講演

座長：広島大学大学院消化器・移植外科学 大段 秀樹

「HCV排除とその後の展開」

広島大学大学院医系科学研究科消化器・代謝内科学 教授
茶山 一彰 先生

17:45 ~ 18:45 特別講演

座長：広島大学大学院消化器・代謝内科学 茶山 一彰

「ヒトiPS細胞を用いた肝疾患に対する新規治療法の開発」

東京大学医科学研究所幹細胞治療研究センター・再生医学分野 教授
谷口 英樹 先生

18:45 ~ 18:50 おわりに

広島大学大学院消化器・移植外科学

大段 秀樹



TKPガーデンシティ PREMIUM広島駅北口 3階「ホール3B」
広島県広島市東区二葉の里3-5-7 GRANODE広島 3階
TEL 082-909-2611

本シンポジウムは、日本医療研究開発機構 (AMED) による補助を得ています

共催：広島肝臓プロジェクト研究センターシンポジウム/アッヴィ合同会社